

育成幼稚園 9月園だより

あなたたちの再生

園長 高地 敬(こうち たかし)

うちの子どもは二人とも難病です。もう 10 年以上前になりますが、妻が『家の鍵』というイタリア映画、障がいのある息子とお父さんが旅をするって、見に行こか、で見に行きました。映画では、父親は離婚したので息子に長く会っていなかったのですが、その息子とヨーロッパを旅していました。ちょっと難しい映画でした。原作の同じ名前の小説があって読みましたが、全く違うストーリーでした。原作の方は、父であるフリジェリオがいろんな病院に息子のことで相談に行きますが、満足できる答えはありませんでした。最後に一人の医者と出会い、その医者 of 言った言葉を記しています。

「このような子どもたちは 2 度生まれるのです。まず体を動かすことから学ばなければならぬので、最初の誕生は、彼らにとって非常に厳しいものです。さて、2 度目の誕生ですが、これはあなたたちから与えられるものによって変わってきます。彼らは 2 度生まれ、1 度目から 2 度目に生まれ変わる道のはさらに苦痛に満ちたものになるでしょう。しかし、その果てにあなたたちの再生も待っているのです。」30 年たっても感謝しています、と書いてありました。

1 度目の誕生は、本人にとってつらい。また、周囲にとってもつらいものだろう。周囲にとってつらいから、1 度目から 2 度目の誕生に至る道は、1 度目の誕生のときよりもさらにつらいだろう。でも 2 度目の誕生をとげた時、親たちも新しく生まれ変わっている。もちろんここでは親と子の関係のことが言われています。1 度目の誕生が周囲にとってつらい、つまり、子どもの状況を受け入れられない。だからその後の道(親と子の関係)はさらに厳しい。けれども、親から与えるもので、その関係は変わってくる。そして子どもが 2 度目の誕生を迎え、親の再生が起こる。

これは、どんな子どもであっても、どんな親子関係であっても、また、親子関係に限らず誰との間でもいえることですが、私自身も含め、「あつ、ちょっとまた新しくなれたかな」と、たまに感じる事ができればなによりです。